

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます	施策 主管課	文化財課	施策主管 課長名	平野克則
	施策No.	3	施策名	文化財の保護と活用	施策の 目指す姿	文化財を適切に保護・活用しています	関係課名	花巻市博物館		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や文化を伝える有形・無形文化財が数多く所在しており、適正な保護が求められています。 ・文化財の存在と価値について、市民への周知が不十分です。 ・市内の文化財に対する興味・関心のある市民の割合は20.5%（市民アンケート）であり、減少傾向にあります。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

<p>(前年度評価時の今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財と市民との距離感を縮め、その存在と保護への理解を深めるため、市所有有形文化財（建造物）の利活用を関係団体へ働きかける。また、埋蔵文化財保護のため、県と連携し県内の開発業者に対し周知徹底を図るほか、発掘現場での現地見学会等により埋蔵文化財に理解を深めてもらう。 ・事業（展示会、講座、体験学習）の企画にあたっては、見学者や受講者から感想等を聞き取り、ニーズの発掘に努める。 ・博物館と総合文化財センターで開催する企画展等は、身近に感じられる内容や懐かしく感じられること、世間で話題になっていること等、多くの方が関心を持つ内容も取り入れる。 ・近接地で開催されるイベントにより入館者数が左右されることはやむを得ないが、展示の工夫等による日頃からの魅力づくりに努める。 <p>(反映状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市所有有形文化財（建造物）の利活用について、庁内各課をはじめ観光協会やグリーン・ツーリズム推進組織へ働きかけた。埋蔵文化財の保護と理解向上のため、住宅建築業者等への周知を図るとともに、市民向けに現地見学会を2回開催した。 ・展示会への参観者アンケートはコーナーを設けて実施した。講座と体験学習会への参加者へはアンケート用紙を配付のうえ記入をお願いし、次回の企画の参考とした。 ・「花巻の城館探訪」、「昭和のこども 写真展」など、身近な史跡の紹介や多くの方がなつかしく鑑賞できる企画展を開催した。 ・参観者にわかりやすく親しみを感じ、また、触ることができる展示など展示方法を工夫した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1)文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査と指定 <ul style="list-style-type: none"> ・「旧嶽妙泉寺庫裏」「猫塚家 諸御用日記」「明治元年神仏分離令による東和地区の動き」の調査を行った。 ○国・県等の有形・無形文化財指定登録に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「倉沢人形歌舞伎」の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国の選択31.3.28）を支援した。 ○市が所有する文化財の適切な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・市所有の文化財、天然記念物を地域の保存会等の協力をいただき良好に管理した。 ○個人等が所有する文化財の適切な保存のための指導と維持補修に対する補助 <ul style="list-style-type: none"> ・県指定文化財早池峰神社社殿の補修に係る県補助金の導入を支援した。 ○埋蔵文化財保護のための適切な周知と指導の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡内で開発を行う際は、事前照会を行うよう周知を図った。 ○埋蔵文化財の記録保存調査および分布状況調査 <ul style="list-style-type: none"> ・破壊を免れない3遺跡（安俣城跡、不動Ⅱ、大谷地Ⅱ）を記録保存した。 ○総合文化財センターにおける埋蔵文化財の整理、分類、保管 <ul style="list-style-type: none"> ・花巻城二之丸跡等の調査により収集した出土品の整理、分類、保管をした。 <p>(2)文化財の公開と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種講座、公演会、セミナー等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会、セミナー、講演会、出前講座、体験学習会を開催した。 ○説明板や案内板等の改修、設置 <ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の説明板の設置及び補修、遺跡の標柱を設置した。 ○文化財関連施設の特別展、企画展の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・博物館、文化財センターにおいて、企画展、テーマ展、共同企画展を開催した。 ○文化財関連施設の再編整備、充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財熊谷家の三和土とかまどの補修を行った。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
この1年間に博物館等の市内の文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座・セミナー等に参加した市民の割合（F-6）	文化財に対する興味・関心や理解をするため、市内にある文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座等に参加しているか、その状況を示す数値	出典：まちづくり市民アンケート 問：あなたは、この1年間に市内文化財施設（花巻市博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、石鳥谷農業伝承館、大迫郷土文化保存伝習館、総合文化財センター）を訪れたり、文化財に関する体験学習、セミナー、講話等に参加したことがありますか？ あると答えた市民の割合	%	目標値	26.0	29.0	32.0	25.0	25.0	25.0
				実績値	22.3	20.5	21.1	19.7	21.4	

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>■成果指標「この1年間に博物館等の市内の文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座・セミナー等に参加した市民の割合」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財関連施設（花巻市博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、石鳥谷農業伝承館、大迫郷土文化保存伝習館、総合文化財センター）の総入館者数は、23,687人で前年対比114.1%だった。博物館において開催した特別展（写真家が捉えた昭和のこども）が好評だったことに加え、花巻観光協会が企画した、雛まつり関連のイベントへ参画できたことが入館者数増の主要因である。 ・博物館と文化財センターが実施した、講座・セミナー等への参加者数は、大人数による受講団体が減ったことや、これまで頻りに体験メニューに参加していたグループが進学・進級により来館しなくなったこともあり、前年対比94.7%の4,325人と減少した。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図	
1-1	文化財保護活用事業 「花巻まつり花巻市文化財指定報告」及び「旧嶽妙泉寺庫裏」、「猫塚家諸御用日記」、「明治元年神仏分離令による東和地区の動き」を調査し調査報告書を刊行(1冊、4件分)	文化財課	一致	直結	C
			A		
1-2	文化財保護活用事業 市所有の建造物(4件)、天然記念物(2件)、遺跡(2件)の施設管理や除草を委託実施、遺跡(1件)は直営除草 県指定文化財1件の補修に係る県補助金の導入を支援	文化財課	一致	直結	C
			A		
1-3	文化財保護活用事業 文化財説明板を新規設置(4件)、補修(1件)	文化財課	一致	直結	C
			A		
2-1	埋蔵文化財保護活用事業 開発に係る指導・届出が89件あり、うち破壊が免れない3遺跡を記録保存	文化財課	一致	直結	A
			A		
2-2	埋蔵文化財保護活用事業 市内2か所の史跡を地元保存会に委託し環境整備	文化財課	一致	直結	A
			A		
2-3	埋蔵文化財保護活用事業 文化財センター担当の講座・講演会、体験学習の提供 (講座等参加者1,337人、体験学習569人)	文化財課	一致	直結	A
			A		
2-4	埋蔵文化財保護活用事業 遺跡への標柱を新規設置(9件)、補修(1件)	文化財課	一致	直結	A
			A		
3	展示活動事業 博物館の特別展(1回)、テーマ展(3回)、共同企画展(1回)の開催	博物館	一致	直結	B
			A		
4	教育普及事業 博物館担当の講座(57回、1,977人)、体験学習会(19回、421人)の開催	博物館	一致	直結	A
			A		

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか) ・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか) ・文化財保護活用事業については、コミュニティ会議や地域の保存会と連携を強化し、文化財の現状把握と適切な保存に努めると共に、市民に関心を持ってもらえるような事業が必要である。 ・埋蔵文化財保護活用事業、展示活動事業、教育普及事業の「講座・講演会」、「出前授業」、「体験学習」は、従前メニューのほか、受講・体験者の興味を引く企画や時流に乗った企画も必要である。 ・埋蔵文化財保護活用事業と展示活動事業の「特別展・企画展」の開催は、入館者数に大きく影響することから、展示内容の吟味の他、ワークショップ等の関連事業も併せて開催する。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか) ・なし</p>

6 施策の総合的な評価

<p>(課題) ・文化財に対する市民の関心や認知及び保護に対する理解が十分に浸透していないことから、向上させる手立てが必要である。 ・市民ニーズにあった講座や体験学習メニューを企画する必要がある。 ・企画展は、花巻の歴史や文化に興味と親しみを感じ、身近なものと感じてもらえる内容とする必要がある。 ・入館者数は、特別展・企画展の内容に左右される面があるため、多くの人が関心を持っている内容で開催する必要がある。</p> <p>(今後の方向性) ・「文化財保存活用地域計画」作成に向けたコミュニティ会議単位の住民参加型文化財調査ワークショップの開催を通じて文化財への関心を喚起する。 ・講座や体験学習会の参加者に対し、受講感想のほか、今後、実施を希望する内容に関するアンケートを行う。 ・企画展は、花巻市内にある遺跡や自然、當み、偉人など身近に感じられる内容や懐かしさを感じる内容で企画を精選する。 ・特別展は、全国的に話題性のある内容や時流に乗ったものとし、多くの参観を得る企画とする。</p>
